

雲城まちづくりセンターの新たな取組

事業名

独り暮らし高齢者花鉢プレゼント & 高齢者生活実態調査

P

事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- きっかけ：「買い物や草刈りで困っている高齢者の力になりたい」という雲城地区住民の声
- ねらい：高齢者の生活の現状把握と課題解決、まちづくり活動への参加者拡大
- 予想される成果：高齢者のニーズから生活支援や集い等福祉事業を計画、実施
他機関と連携し、地域住民を巻き込みながら協働で地域福祉のまちづくり活動を推進

D

事業の概要

高齢者生活実態調査

- 事業対象者は、80 歳以上の一人暮らし高齢者に絞り、社会福祉協議会が年末実施している「まごころ弁当と安否確認」事業に同行して実施を計画→浜田市社協金城支所及び民協定例会での事業説明、協力依頼→賛同を得て、民生委員に同行し高齢者宅を訪問、花鉢とメッセージを届け、生活実態調査も配布し記入のお願い→高齢者の方と直接会話をし、普段の生活の困りごとを聞くことができた。
- 生活実態調査項目について、社協生活支援コーディネーター、浜田市まちづくりコーディネーター（コミュニティナース）に相談、内容やレイアウトについて専門的なアドバイスをもらい調査票を作成した。
- 調査票集計→まちづくり役員、社協、浜田市まちづくりコーディネーターとの意見交換会を開催する。

花鉢プレゼント

- まちづくりセンター恒例の「寄せ植え教室」の参加者や講師が花鉢づくりに協力し、40 鉢が完成した。

C

課題の解決度合（10 段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

									○	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

上記評価の理由

調査表の回答率は 74%。高齢者対象の調査は回答が難しいと社協から指摘されたが、花鉢のプレゼントに合わせ個別訪問、顔を見て調査依頼をしたことが回答率の高さにつながった。用紙に書ききれない思いや現状など便箋に追記同封された高齢者もあった。未回答者には再度訪問するなど、聞き取りを行う予定。

A

事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

- 高齢者生活支援調査の対象をサロン参加者に対しても実施、より多くの高齢者の声を集める。
（独り暮らしだけでなく高齢者世帯の調査実施）
- 調査結果を参考にしながら、具体的な生活支援実施にむけて、活動組織、団体の立ち上げや支援を行う。
- サロンを実施していない地域の高齢者が参加しやすい雲城全体のサロンの開催を検討する。

